

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(県居小) 学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・今年度の重点目標について、詳細な資料とともに詳しい説明を受けることができ、それを受けて熟議を重ね承認することができた。
- ・長年言われている県居小の子供の良い点(素直・優しい)は伸ばしていき、その裏返しで消極的、自分の意見が言えない等は改善していけるよう具体的な方策を皆さんと共に考え、熟議することができた。
- ・委員全員が学校運営の当事者として、県居小学校の特色でもある賀茂真淵の教えと自分の生き方を結び付けて考える活動や、和歌に対しての取り組みなどについて積極的に熟議を重ねることができた。
- ・疑問な点もありましたが、教育委員会の方もフォローしてくれ、学校運営の基本方針について共通理解した上で、熟議を行うことができた。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- ・特色ある学校づくりに関しては、県居小には賀茂真淵という大きな柱があり、今年度の取組について、賀茂真淵関係の活動に重点をおいて熟議を進めることができた。
- ・「県居に学んだことを誇りに思う活動について」は、真淵の教えを年間通して教育されていることが共有できた。熟議により、さらに「県居に学んだことを誇りに思う活動」について発展したアイデアも出され、協議会としての有用感が高まった。
- ・「学校運営に資する活動」の内容について議論が十分にできたとは言えないが、その活動の大切について地域の方々の協力を得る方法等で有益な議論ができたと思う。
- ・支援策の具体化については、ボランティア募集の話が出たが、結論までには至らなかったが、かなりいろいろな意見・問題点が出てきて熟議ができたと思う。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・来年度のグランドデザインの中の指導の重点として挙げられている「進んで気持ちのよいあいさつができる子の育成」については、地域ぐるみで取り組んでいくために、どのようなことができるか学校運営協議会で熟議をし、家庭・地域と共に育成できるようにしたい。
- ・第3回の協議会においては、事前に資料が渡されていたため、協議会前に委員が熟考でき、それぞれの自分の考えをもって熟議を進めることができた。来年度も学校運営基本方針について、事前の資料配布や子供の実態を知るための授業参観などを行っていただき、さらに委員の意見を反映できる運営体制を整えていきたい。
- ・今年度、「あがたいサポーターズ」というボランティア組織を立ち上げ、来年度から本格始動していくことになっている。来年度は、この組織の活動を充実させたい。
- ・「県居に学んだことを誇りに思う活動」の推進に取り組んでいく。今年度も茶道体験、賀茂真淵記念館への訪問、和歌作り等特色ある学校づくりに取り組んでいくことができた。来年度も、この「県居に学んだことを誇りに思う活動」をより充実させ、さらに時代のニーズにあった活動も取り入れていけるよう、学校と地域と共に特色ある学校づくりに取り組んでいきたい。